

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

学校番号	79	学校名	仙台市立広瀬小学校	校長名	佐々木 友康
------	----	-----	-----------	-----	--------

1 取組のタイトル

「総合的な学習の時間を生かした SDGs の取組」



2 取組の紹介

本校では、3年生が大豆をテーマに総合の学習を行っています。

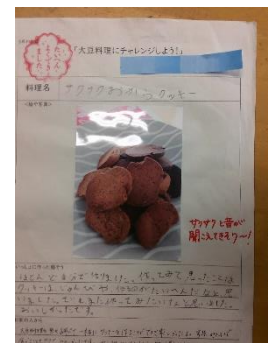
(1) 育ててみよう

理科「植物の育ち方」で学んだことを生かして、種の観察や種まきを行いました。大豆の育て方について本やインターネットで調べて計画を立て、おいしい大豆ができるように皆で協力して栽培しました。

定期的に畑を観察し大豆の成長を記録したり、疑問に思ったことを調べたりして学びを深めました。

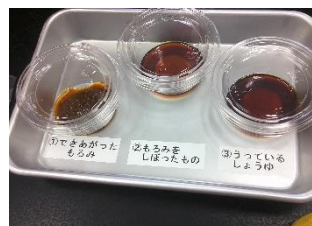
(2) 大豆のレシピカード

夏休みの宿題で、「大豆」を使った料理について調べました。ご家庭からも協力をいただき実際に調理して大豆を使った料理を味わうことができました。また、調べた料理について友達と伝え合い、加工食品を使ったものやそのままの大豆を使ったものなど様々なレシピがあることが分かりました。



(3) ゲストティーチャーによる特別授業

- ① 仙台農業協同組合の方々をゲストティーチャーとしてお迎えし、豆腐作りを行いました。実際に調理することで、豆腐ができるまでの工程だけでなく大変さを学ぶことができました。
- ② 宮城県醤油協会から醤油博士をゲストティーチャーとしてお迎えし、醤油ができるまでの工程や醤油の成分などについて専門的な話を伺うことができました。実際に醤油の味見をしたり香りを嗅いだりすることで、醤油や食品に対する興味関心が高まりました。



(4) 学習のまとめ

自分の興味を持ったテーマについて学習したことを整理し、図鑑やスライドにまとめることができました。大豆以外の食品についても詳しく調べたいという思いを持った児童が多くみられ、総合の学習を通して食に対する考えや思いを深めることができました。

3 取組の成果（児童生徒の変容）

自分で課題を見つけ調べたり話し合ったりしたことで、大豆や食品のことについて主体的に学習に取り組むことができました。また、実際に大豆を育てたり豆腐や大豆を使った料理を作ったりする活動を通して、多くの児童が食への関心を高める姿が見られました。